



風立ちぬ

つよく
かしこく
あたたかく

立川中学校通信

平成30年4月12日(木)発行

31名の新入生を迎え、平成30年度スタート

4月7日(土)、平成30年度入学式が行われました。希望に満ち溢れた31名の新入生を迎え、生徒数97名、教職員21名で、平成30年度のスタートです。

新入生へのメッセージを掲載します。

心に刻みたいメッセージ



校長式辞 中里浩也校長(要旨)

伝統を引き継ぎ、自分を輝かせるための3つの話。

「夢と目標に向け努力する中学生になろう。」なりたい自分を描き、今のこの時間を大切にしっかり生きる。

「心と身体を鍛えよう。」自分をコントロールする力を身につけ、困難や失敗から逃げず、チャレンジする。

「仲間を大切にしよう。」共に汗を流し、共に笑い、共に涙することで、中学校生活が充実する。仲間と学ぶ話し合い活動や体験から得たものは必ず将来役立つ。



来賓祝辞 原田眞樹庄内町町長 代読 阿部金彦副町長(要旨)

幕末の志士、清河八郎の後輩である立川中の生徒の皆さんは、少人数を生かしたきめ細かな指導で力を発揮し、部活動ではそれぞれが貴重なメンバーとして努力して上位大会に出場している。最上川舟唄は地域の評判になっている。中学生の活躍が町民を明るく元気にしてくれていることに感謝。先輩達の功績を、2・3年生と一緒にさらに高めてほしい。

中学校は自信と夢を育てる3年間。豊かな体験と交流を通して、夢と自信を膨らませ、たくましく成長してほしい。



生徒会長歓迎のことば 杉山理央生徒会長(要旨)

これから始まる生活への期待と喜び、不安、様々な気持ちでいっぱいだと思います。心配はいりません。仲間・上級生がいます。先生方も手を差し伸べてくれます。みんなの力を合わせ、少しずつ中学校生活に慣れてください。

「文武両道」「為せば為る」この言葉の示す通り、たくさんのことに挑戦し、自分の可能性を切り開いていきましょう。時には苦しいこともあるが、仲間と励まし合いながら、乗り越え、どんな問題にぶつかっても諦めないで、一緒に考え、進んでいきましょう。

在校生 歓迎の合唱「最上川舟唄」 指揮 村井康輔君

郷土を唄う2・3年生の迫力ある合唱に聴衆全員が感動しました。



新しい仲間の決意

新入生誓いのことば 西村大和君（要旨）

「部活動」「学習」「あいさつと会釈」をがんばる。
部活動は、先生方、地域の方々、家族に感謝の気持ちを持ってがんばりたい。

学習は、苦手な教科もしっかり予習してテストに取り組みたい。

立川小で学んだ「立川しぐさ」を忘れずに中学校でもがんばりたい。

学習や人として大切なことなどをしっかり学びたい。義務教育最後の3年間で「自主性」を身につけ、3年後、それぞれの道へ大きくはばたきたい。



教職員21名、よろしくお願いします

平成30年度の教職員は以下の21名です。お子さんの成長のために精一杯努力してまいります。よろしくお願いします。



コブシ

校庭のコブシの花が咲きました。教室からも見えます。春、真っ先に咲く、北国に春が訪れたことを告げてくれる清楚な美しい白い花です。モクレンにも似ていますが、花びらの付け根に小さい葉が一枚あることで区別できます。果実が「にぎりこぶし」に似ていることからこの名前がつけました。



プール脇のコブシ並木

お子さんのことや学校のこと、お聞きになりたいことや相談したいことがありましたら、担任や学校にお気軽に連絡をいただきたいと思います。

電話 56-2075 FAX 56-2284

メール tachikawa-jhs@shonaitown.ed.jp

文責：校長 中里 浩也